
千葉県立 中央博物館 みらい計画

千葉県
千葉県立中央博物館

令和6年3月

はじめに	計画策定の趣旨	1
1	計画策定の背景	2
1-1	千葉県立博物館の概要	3
1-2	博物館をめぐる社会情勢の変化	5
1-3	現状と課題	6
1-4	これからの県立博物館	13
2	これからの中央博物館	16
2-1	中央博物館の概要	17
2-2	目的とテーマ	18
2-3	今後の運営指針	19
2-3-1	基本コンセプト	20
2-3-2	目指す姿	21
2-3-3	取組の方針	22
2-3-4	取組の方針に沿った事業展開	23
2-3-5	運営体制	26

はじめに：計画策定の趣旨

千葉県では「千葉県の博物館設置構想(昭和48年策定)」に基づき、資料保護と県民の文化的生活の向上を目的として、県内各地に地域の特性と専門館としての要素を持つ「地域博物館」とセンター機能を有する「中央博物館」と「美術館」を整備し、平成11年度までに県内各地に10館11施設を設置しました。その後、県内においても市町村立博物館の整備が進み、地域における県立博物館の役割が変化したことから、県立博物館の再編及び市町村移譲等を検討し、現在は、5館8施設を運営しています。

博物館をとりまく社会情勢の変化を背景とし、博物館には、これまでの役割に加え、これからの時代に必要とされる機能をより強化していくことが求められるようになりました。

そこで、令和2年9月に千葉県教育委員会において「千葉県立博物館の今後の在り方」を策定し、千葉県立中央博物館の機能強化を図り、専門職員と博物館資料を集約する方針を定めました。令和5年3月には、この方針に沿って、千葉県立中央博物館の強化すべき機能を整理し、「千葉県立中央博物館機能強化実施方策」を策定しました。

これらを踏まえ、千葉県立中央博物館のリニューアルを見据えた基本計画として本計画を策定します。